

令和5年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：高岡法科大学

代表学生：廣長 華南

指導教員：八坂 徳明

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>高岡市・射水市(旧新湊地区)を結び路面電車「万葉線」沿線地域の活性化の研究</p>
<p>研究概要</p>	<p>「万葉線」は、「安全・安心に配慮した快適な輸送サービスを提供することにより、路線の維持・活性化を図るとともに、沿線地域を中心として都市に魅力と活力を与え、利用者や地域に愛される路線を目指す」との理念掲げているが、かかる「社会的便益」が存続後20年を経た現在も享受されているのかの検証を試みる。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>参加学生全員にて、年間研究計画に基づき、ゼミにて研究内容の確認と役割分担を実施した。 万葉線本社を訪問の上、実務担当者から万葉線の現状につきヒアリングを実施(延べ2回)。 高岡市未来政策部総合交通課から講師をお招きし、「高岡市の公共交通について」勉強会を実施した。 また、万葉線本社へ本学学生による万葉線活性化のイベント企画を持ち込み、実務担当者の実現可能性につき協議を重ねている段階。本学学生が考案した企画が採用となれば、万葉線魅力度向上の一助と期待されるもの。 並行して、発表・報告書作成に向け、課題及び課題解決策を整理中。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>変更無。</p>



① 高岡市職員の方をお招きした勉強会の際の写真



② ゼミ協議風景